

R・Flagプロジェクト通信



NPO法人成年後見センターかけはし 神奈川県大和市柳橋2-1-26ウイングシバタ102
HP : <http://www.kakehashi-tomoni.org/> E-mail: info-kakehashi@galaxy.ocn.ne.jp
TEL : 046-244-5551 FAX : 046-244-5534



独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業

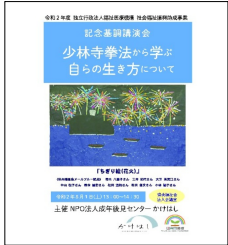
第3回 かけはしWAM助成事業

今を生きる

8月1日(土)、 県央福祉会法人会議室を会場に、小川肇氏による「少林寺拳法から学ぶ自らの生き方について」の講演会を開催しました。

本会は、NPO法人成年後見センターかけはしの「令和2年度WAM助成講演会・研修会事業」の第一弾となる基調講演会となります。

当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、会場の消毒、参加者の検温、換気、最大参加人数の制限(18名まで)を行い、3密を避けた状態で実施しました。生活支援事業所 グループホームなどの福祉施設



県央福祉会利用者さん達の素敵な絵を表紙にした冊子体のテキスト



その語り口調に誰もが癒される 講師：小川 肇 氏

時間は前にしか進まない

「私は本当に不器用な人間なんです」

意外な言葉で小川氏の講演は始まりました。少林寺拳法少法師、その段位は神奈川県でただ一人の「正範士八段」。

また、横浜市立武道館(2020年7月開館)の建設を目指し武道10団体で結成された市立武道館建設推進協議会の会長も勤め上げている、まさに華々しい経歴をもつ小川氏のどこに不器用な要素があるのか？ 会場が、小川氏から出てくる次の言葉に耳を傾けました。

「だから、人より努力すること、人に負けないパワーをつけることを目指して生きてきました」

自身の歴史を裏付ける力強いそんな言葉を、実に穏やかに、にこやかに述べる小川氏。私たち参加者は、あっとい間に小川節に引き込まれていきました。

「時間は前にしか進みません。後ろには絶対戻らないんです。この不可逆的な法則を人間はなかなか受け入れられないんですよ」と笑う。

「そうなんです！しくじると八方塞がりになり、なんとかして時間を戻そう、どうしたら戻るのかなんて考えしまいます。しかし悲しいかな時間を戻す術がない・・・じゃあどうする？」

「今、今、今を生きる」「忘れる、逃げるな、楽しめ」「何かにいつも努力しろ」

少林寺拳法の教えであるこの「身心一如」。今現在の自分を精一杯生きる努力を、決して惜しまずに歩んできた小川氏の言葉だからこそ、私たちの心にこうして染みるのではないのでしょうか。

自らの生き方

あっとい間の1時間半でした。自身の病氣・苦悩・失敗、これらを人生のファンデーションと呼ぶ小川氏。

だからこそ克服した時の喜び、幸せがある、と。そして吉田兼好の言葉にあるように「善人のふりをして生きる。生き通せばそれは善人と同じなのだ。」を、日々胸に置き、最大限善人のふりをして生きると誓っている、という。「今日も一日善人であろうな！」と自分に語りかけ、唯一の今日を始めるのだそうです。

今を全力で生きる小川氏の生き方、精神、心意気に、参加者皆が大いに刺激を受けた講演会となりました。

今回の研修会は9月12日(土)・13日(日)同会場にて開催されます。